



株式会社 ピクセラ
2005年9月期決算説明会



当期決算概要と来期見通し
事業展開の状況
事業の展望

2005年9月期実績

(単位: 百万円、%)

	2005年9月期 実績(連結)	2005年9月期 実績(単体)		2004年9月期 実績(単体)
	金額 構成比	金額 構成比	前期比	金額 構成比
売上高	8,006 100.0	8,006 100.0	106.7	7,506 100.0
売上総利益	1,906 23.8	1,894 23.7	83.7	2,262 30.1
営業利益	62 0.8	61 0.8	7.1	869 11.6
経常利益	△110 △1.4	71 0.9	8.6	837 11.2
純利益	△155 △1.9	26 0.4	5.6	478 6.4



2005年9月期業績のポイント

◆ハードウェア

(キャプチャー製品)

□計画数量の達成

- ・地デジ・デスクトップ向けともに
販売数量、計画達成

□計画単価の維持

- ・地デジ、ノート向け単価維持
- ・デスクトップ単価弱含み

(半導体製品)

□数量の減少(引続き)

- ・代替製品への移行

◆ロイヤリティ

(デジカメ等バンドルソフト)

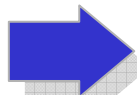
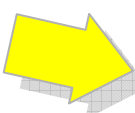
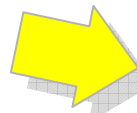
□計画数量の未達成

□計画単価維持

(TVアプリ)

□計画数量未達(アナログTV)

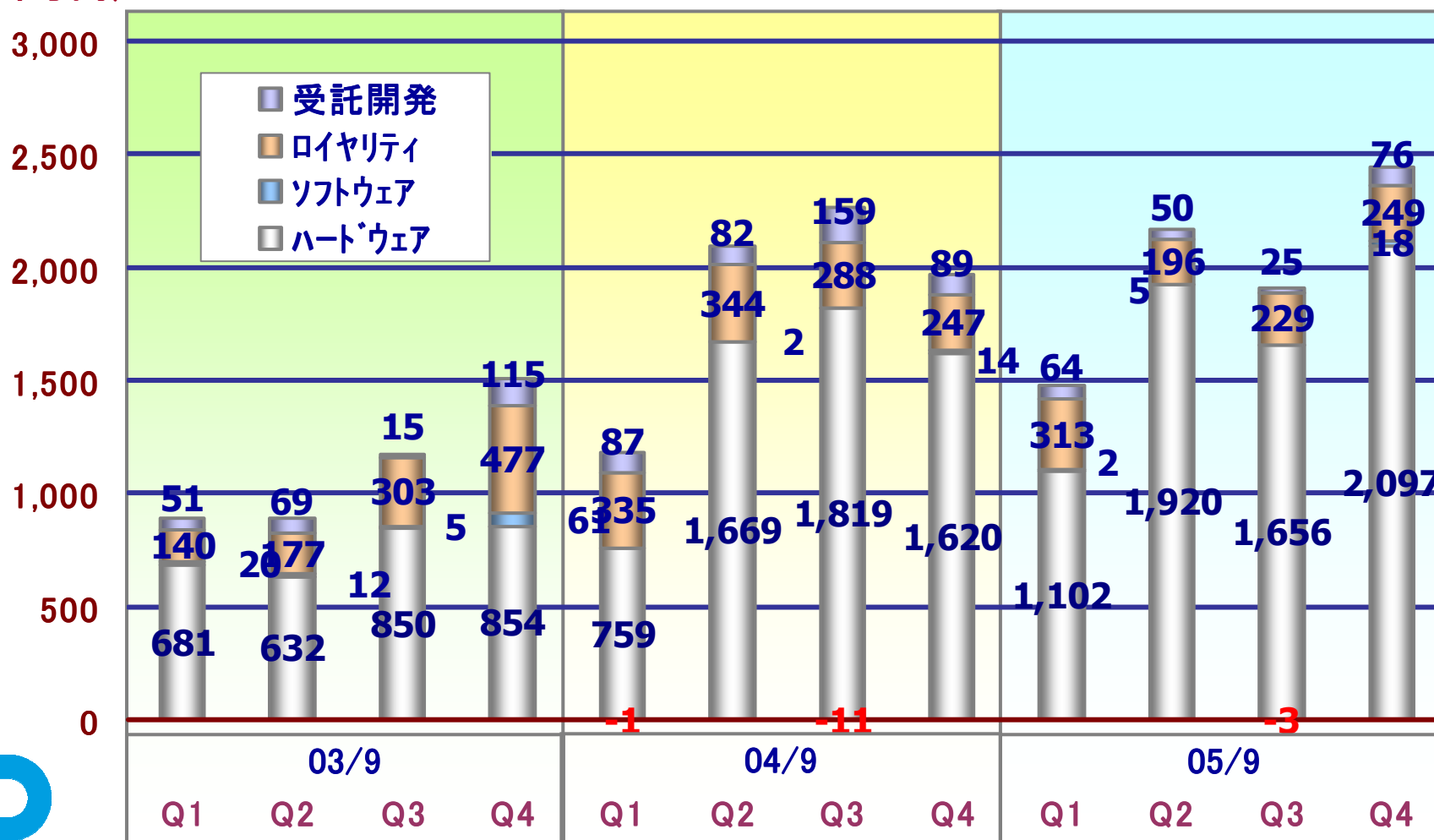
□計画単価の維持

	数量	単価
ハードOEM 製品		
ロイヤリティ 製品		



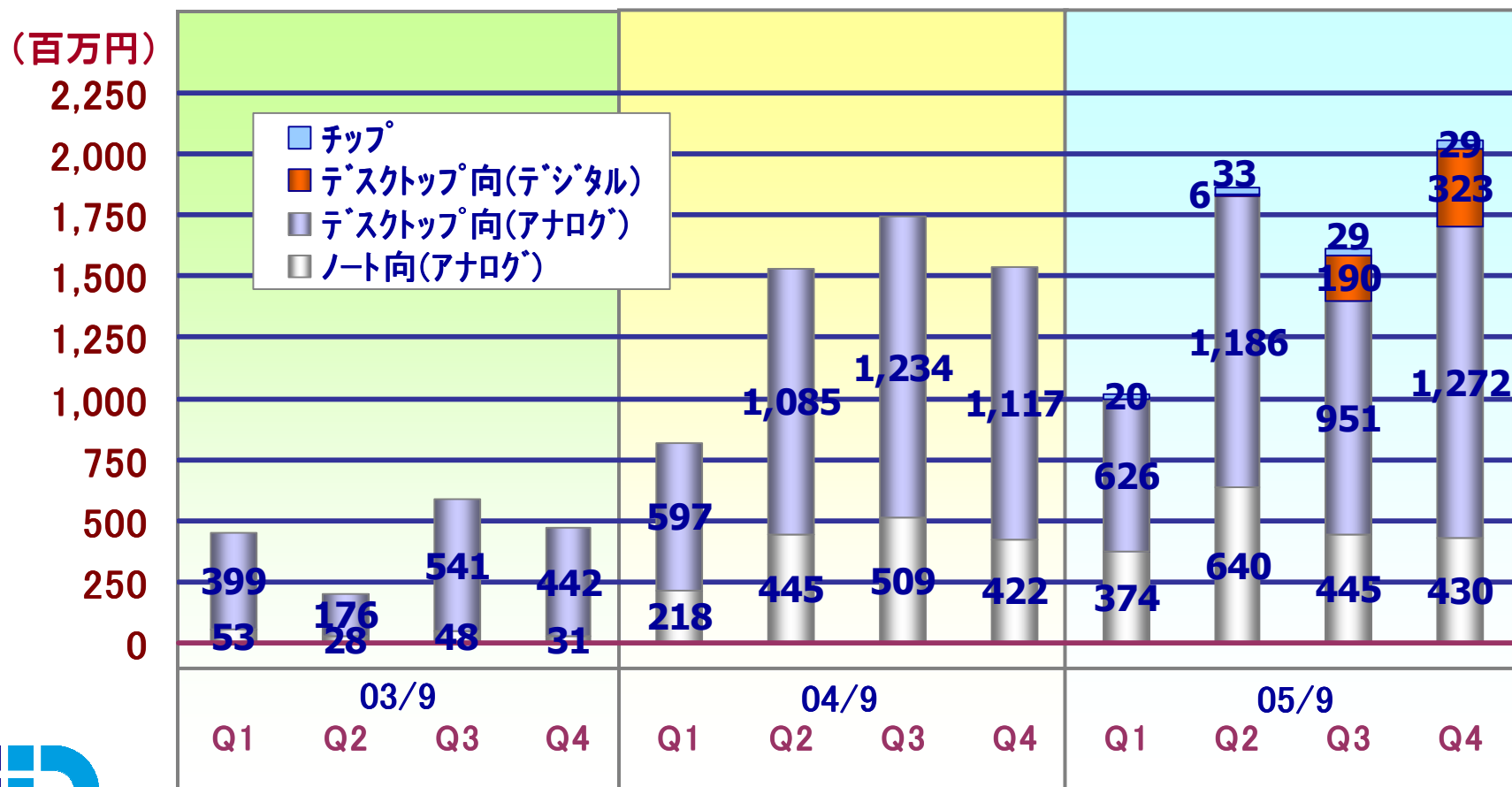
製品群別売上高推移(単体)

(百万円)

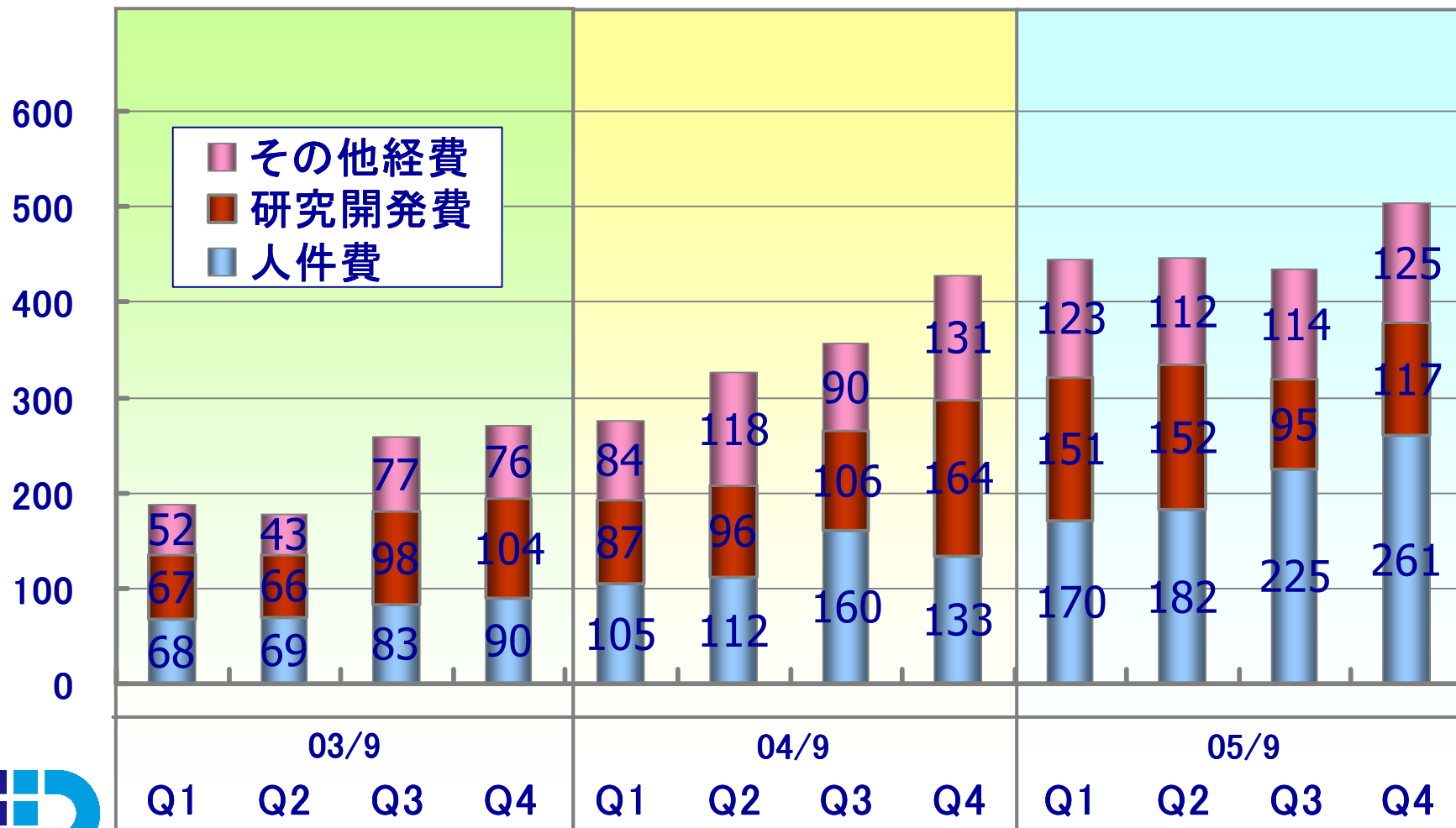


ハードOEM向け種類別(単体)

【ハードOEM:デスクトップ/ノート別売上高構成】



販管費の推移(単体)



財務活動

■ 自社株買いの状況

- ・5月 7,000株
- ・6月 49,900株 (56,900株)
- ・8月 20,300株 (77,200株)
- ・9月 43,700株 (120,900株)

()内は累計です

■ 利益配当金(予定)

- ・期初計画通り、1株につき12円を予定



2006年9月期見通し（連結）

（単位：百万円、％）

	2005年9月期		2006年9月期（予定）		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	8,006	100.0	10,201	100.0	2,195	127.4
売上総利益	1,906	23.8	2,239	22.0	333	117.5
営業利益	62	0.8	194	1.9	132	311.3
経常利益	△110	△1.4	43	0.4	153	—
当期純利益	△155	△1.9	△29	△0.3	126	—



2006年9月期見通し（単体）

（単位：百万円、％）

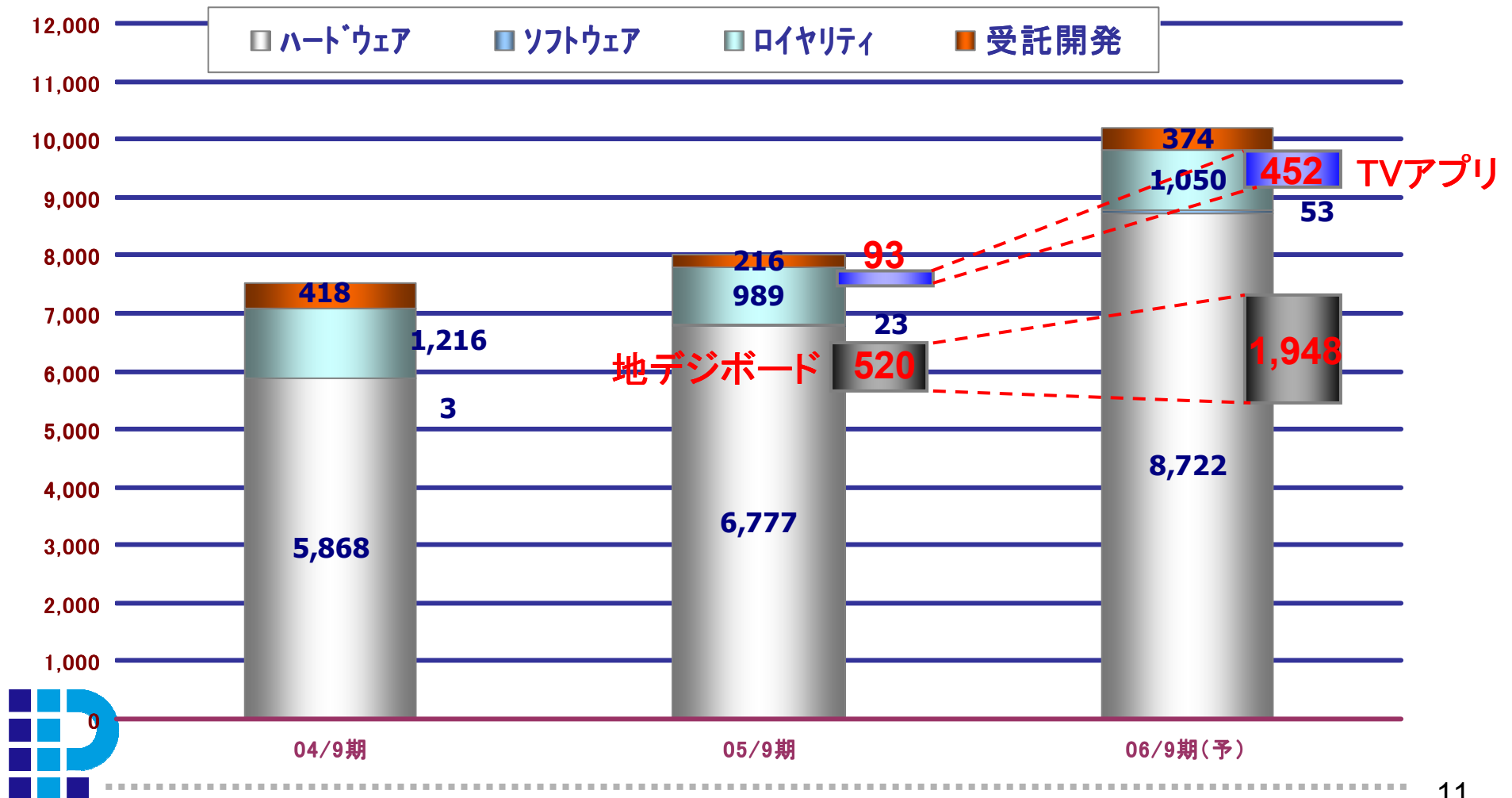
	2005年9月期		2006年9月期（予定）		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	8,006	100.0	10,201	100.0	2,195	127.4
売上総利益	1,894	23.7	2,239	22.0	345	118.2
営業利益	61	0.8	181	1.8	119	293.5
経常利益	71	0.9	151	1.5	79	211.2
当期純利益	26	0.4	79	0.8	52	296.4



売上高の見通し(単体)

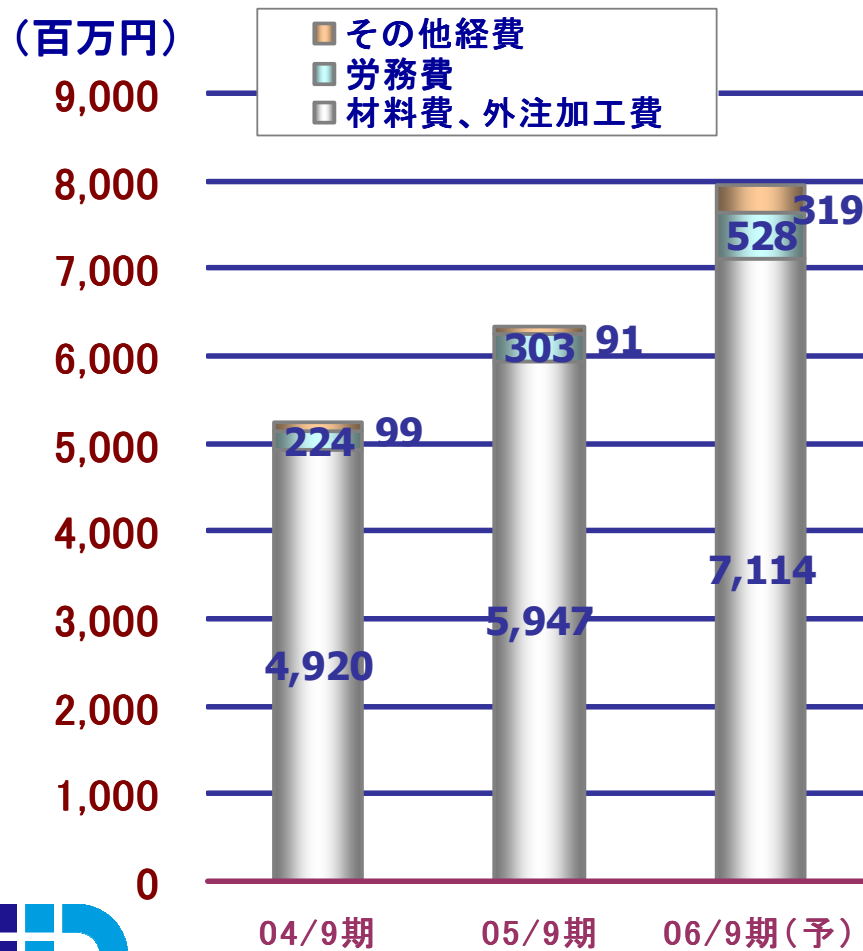
【製品売上高構成推移】

(百万円)

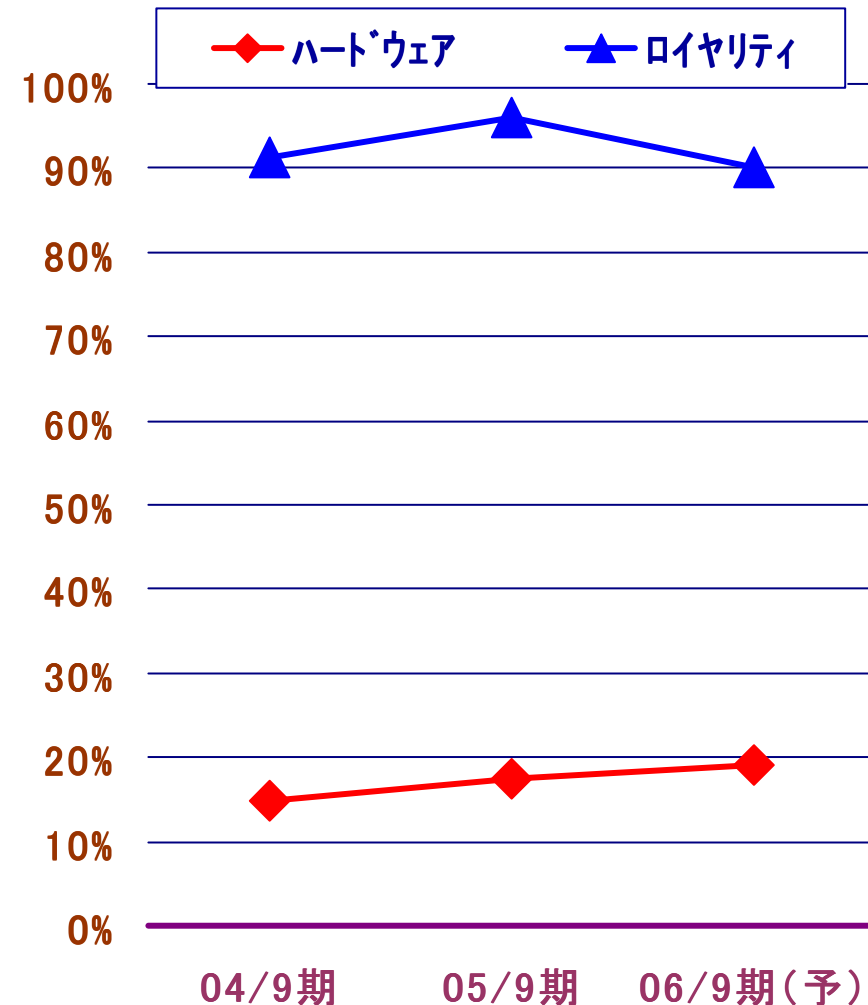


原価及び粗利の見通し(単体)

【原価の推移】

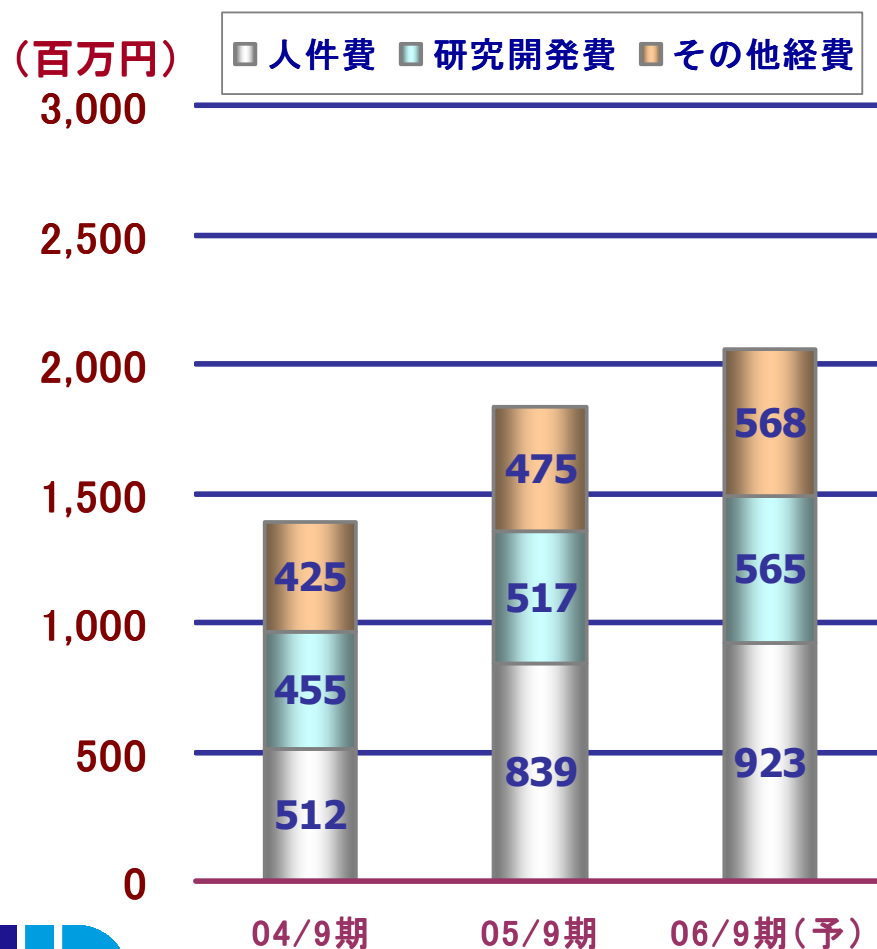


【粗利率の推移】

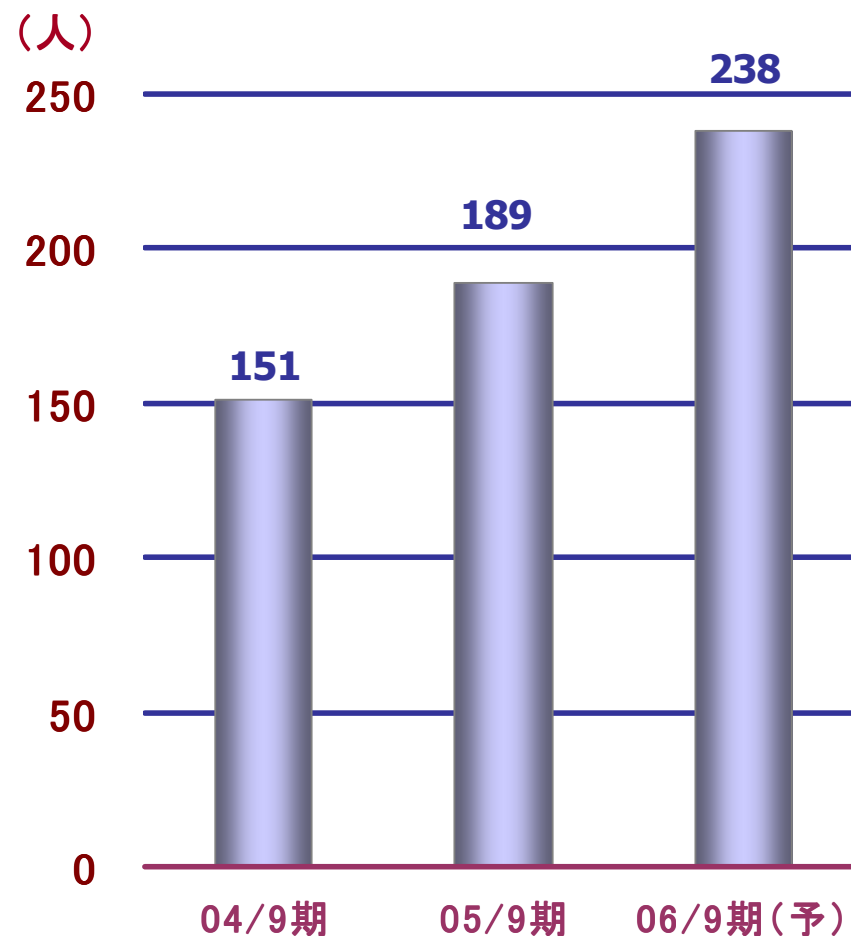


販管費及び人員計画の見通し(単体)

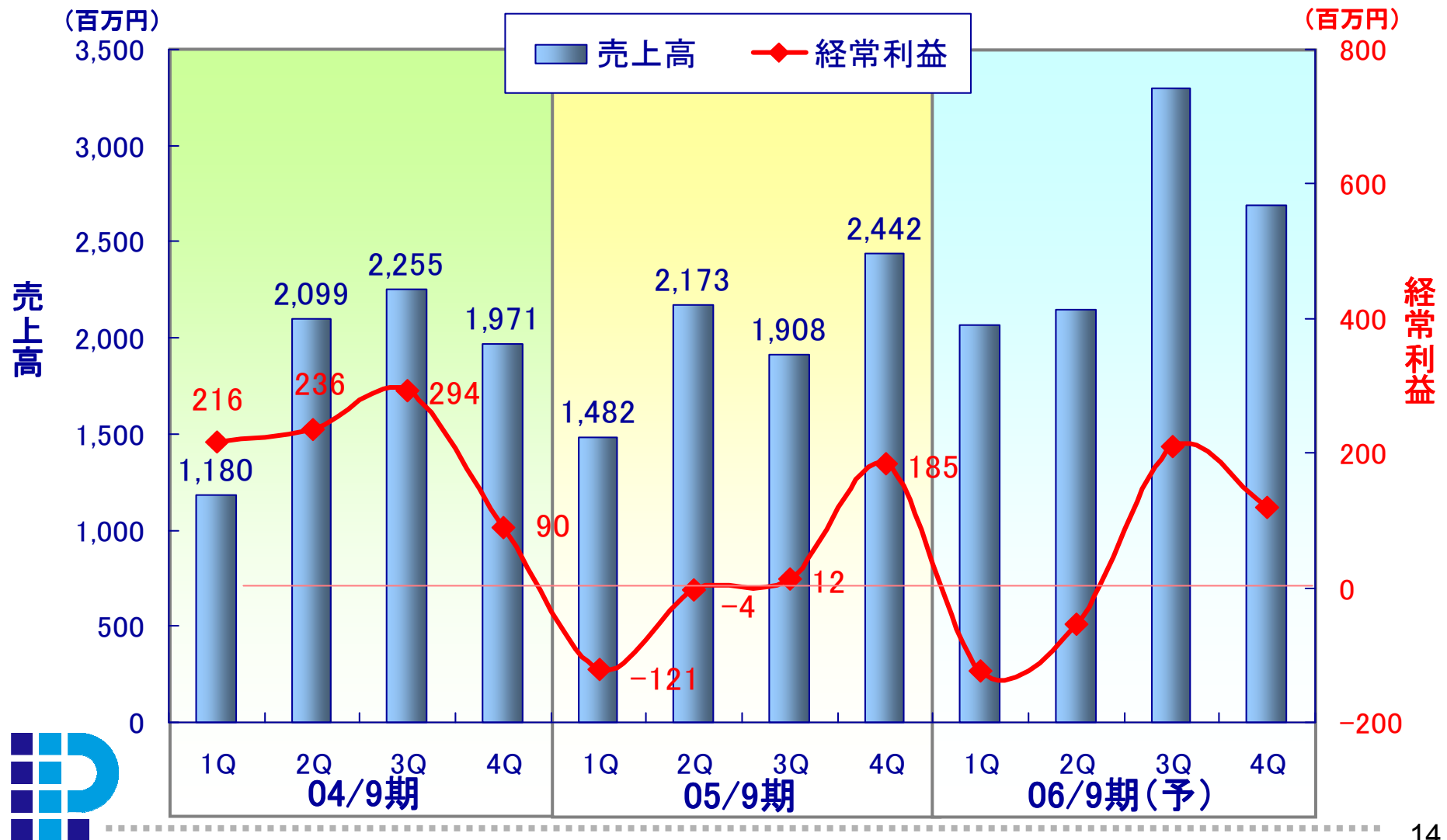
【販管費】



【人員数】

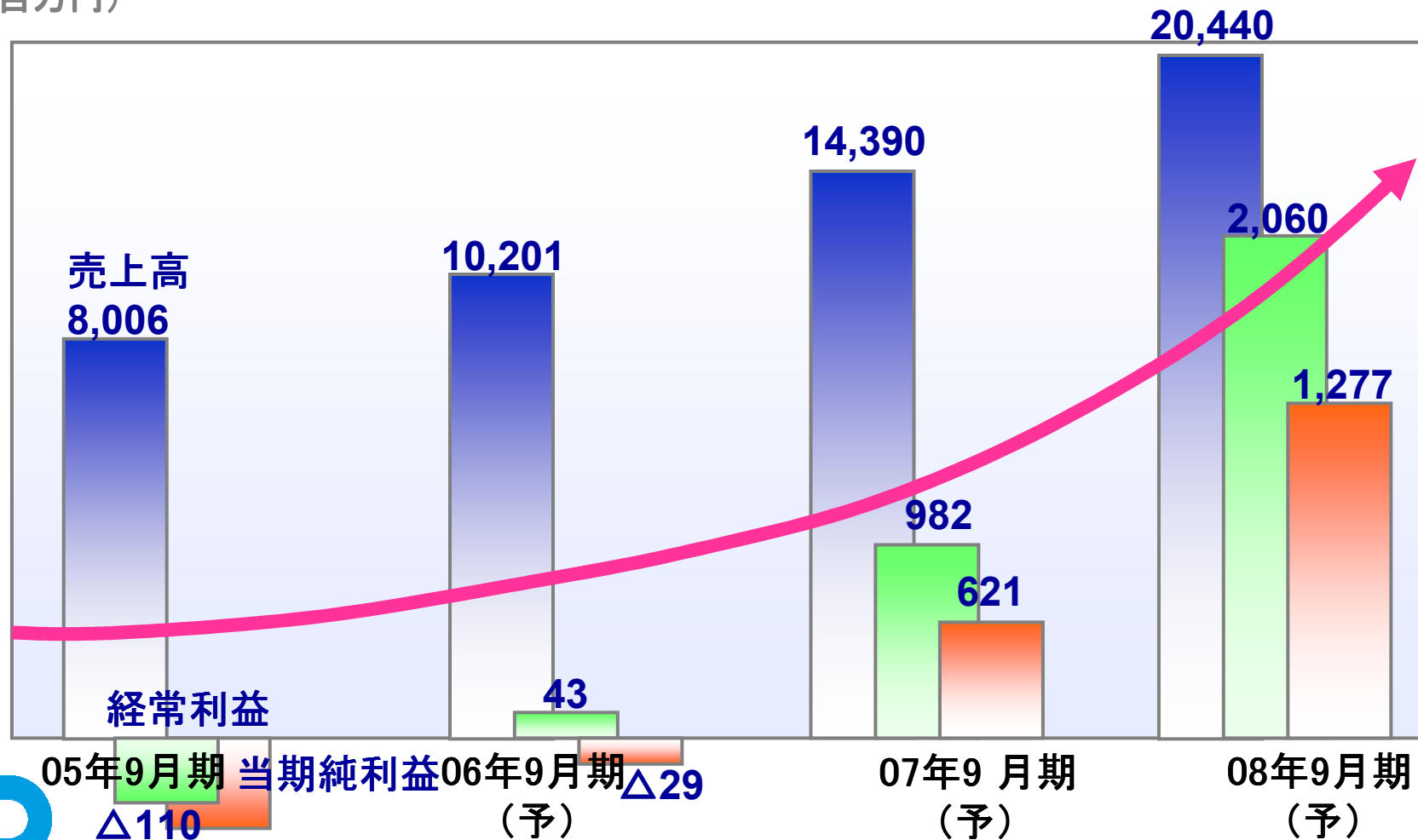


売上高・経常利益推移(単体)



中期計画(連結)

(百万円)





当期決算概要と来期見通し
事業展開の状況
事業の展望

2005年9月期の実績

04年 10月 DVD-Video/Video CDオーサリングソフトウェア(ImageMixer™ DVDMaker2)発売

05年 1月 高画質アナログTVキャプチャボード

(PIX-MPTV/L2W-R/ロープロファイルPCI対応デスクトップPC用)

3月 地上デジタルTVキャプチャボード (PIX-DTTV/P1W/デスクトップPC用)

高画質W録画対応アナログTVキャプチャボード

(PIX-MPTV/P8W/デスクトップPC用)

高画質アナログTVキャプチャボード (PIX-MPTV/P6W/デスクトップPC用)

低消費電力アナログTVキャプチャボード

(PIX-MPTV/P5W/ノートPC用、RfStreamシリコンチューナー搭載)

ISO14001認証取得

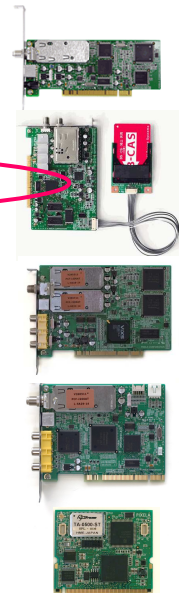
4月 アナログTVキャプチャボックス (PIX-FTV300UM/Macintosh用)

6月 PIX-MPTV/P8Wリテール版発売

Rec Station (TV番組情報提供サービス、PC向け) サービス開始

8月 ISO9001認証取得

9月 DVDスーパーマルチドライブ (PIX-DVRR/FW7/Macintosh用) 発売



今期の展開

■ハードウェアの展開

- ・ TVキャプチャーボードのシェア拡大
- ・ 地上デジタルTVキャプチャーボードの展開
- ・ 地上デジタルTVキャプチャーボード売上高推移
- ・ デジタルラジオ放送の今後の展開

■ロイヤリティの展開

- ・ 既存のDSC・DVCアプリ + TV視聴アプリの拡大



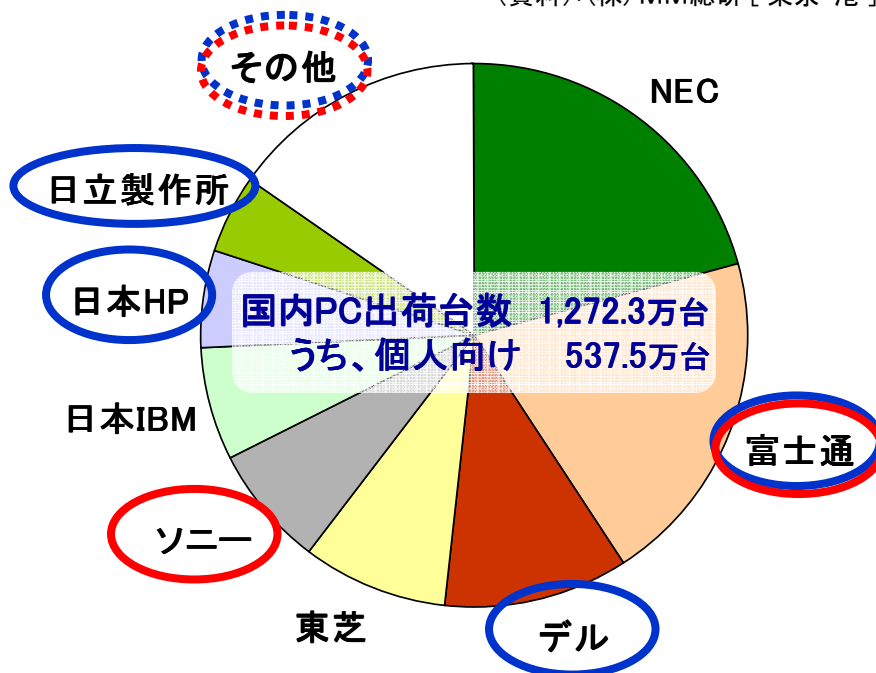
ハードウェアの展開

TVキャプチャボードのシェア拡大

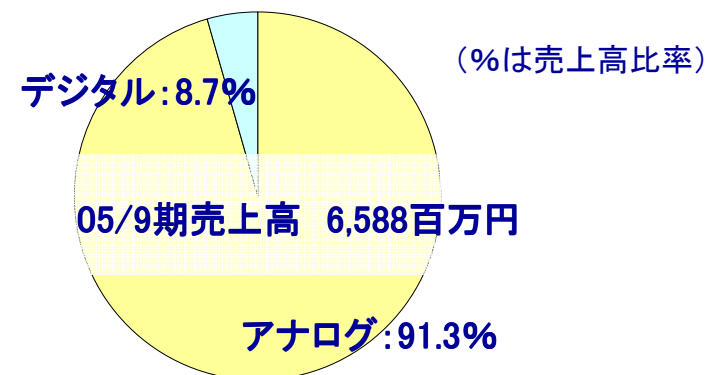
パソコンの国内出荷シェアの状況

【2004年】

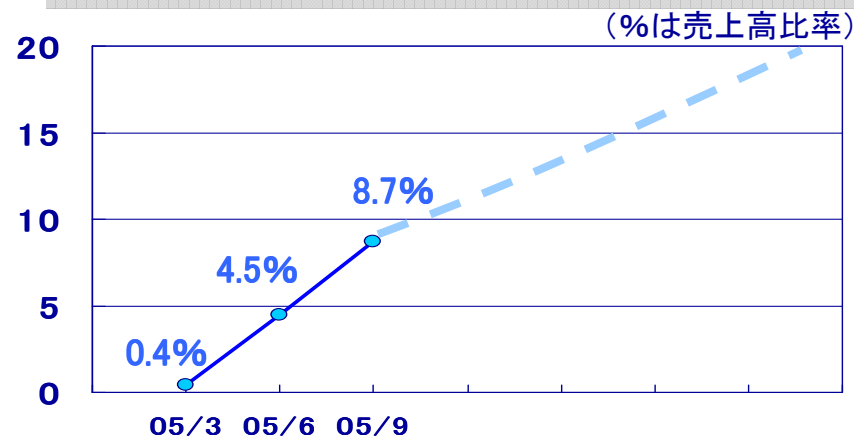
(資料)「(株)MM総研 [東京・港]



TVキャプチャボードのデジ・アナ比率



デジタルTVキャプチャボードの推移

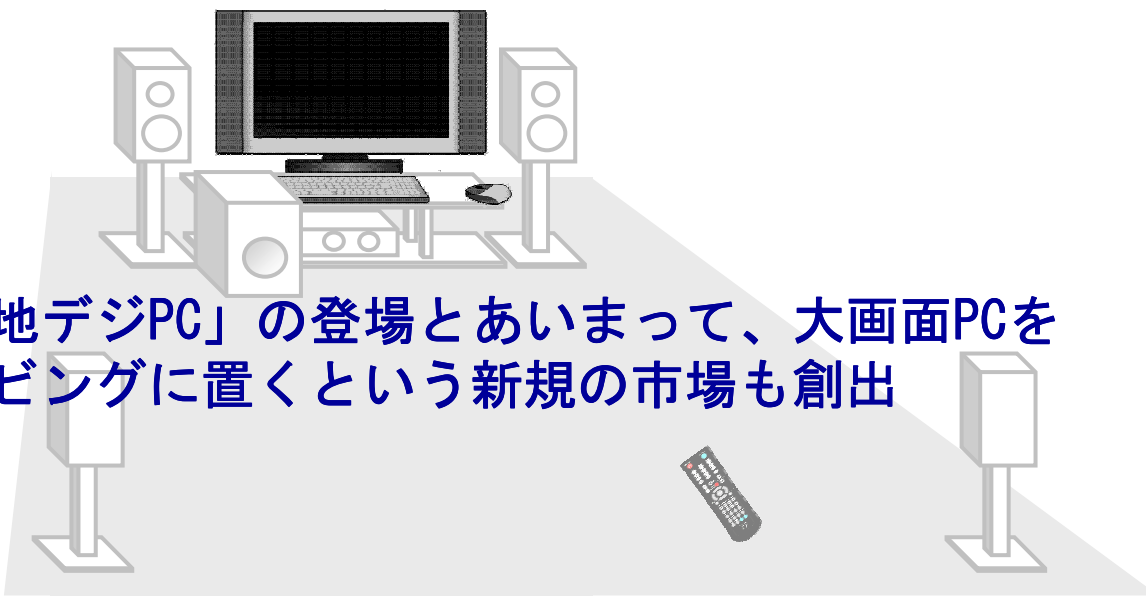


○ ピクセラOEM供給先(アナログ)
○ ピクセラOEM供給先(デジタル)

ハードウェアの展開

地上デジタルTVキャプチャーボードの展開

メーカー名	製品種類	供給開始時期
富士通	デスクトップ	2005/4
ソニー	デスクトップ	2005/9
シャープ	デスクトップ	2005/10
—	ノート(開発中)	2006/春以降



「地デジPC」の登場とあいまって、大画面PCをリビングに置くという新規の市場も創出



PCI接続デスクトップPC用
(PIX-DTTV/P1W)

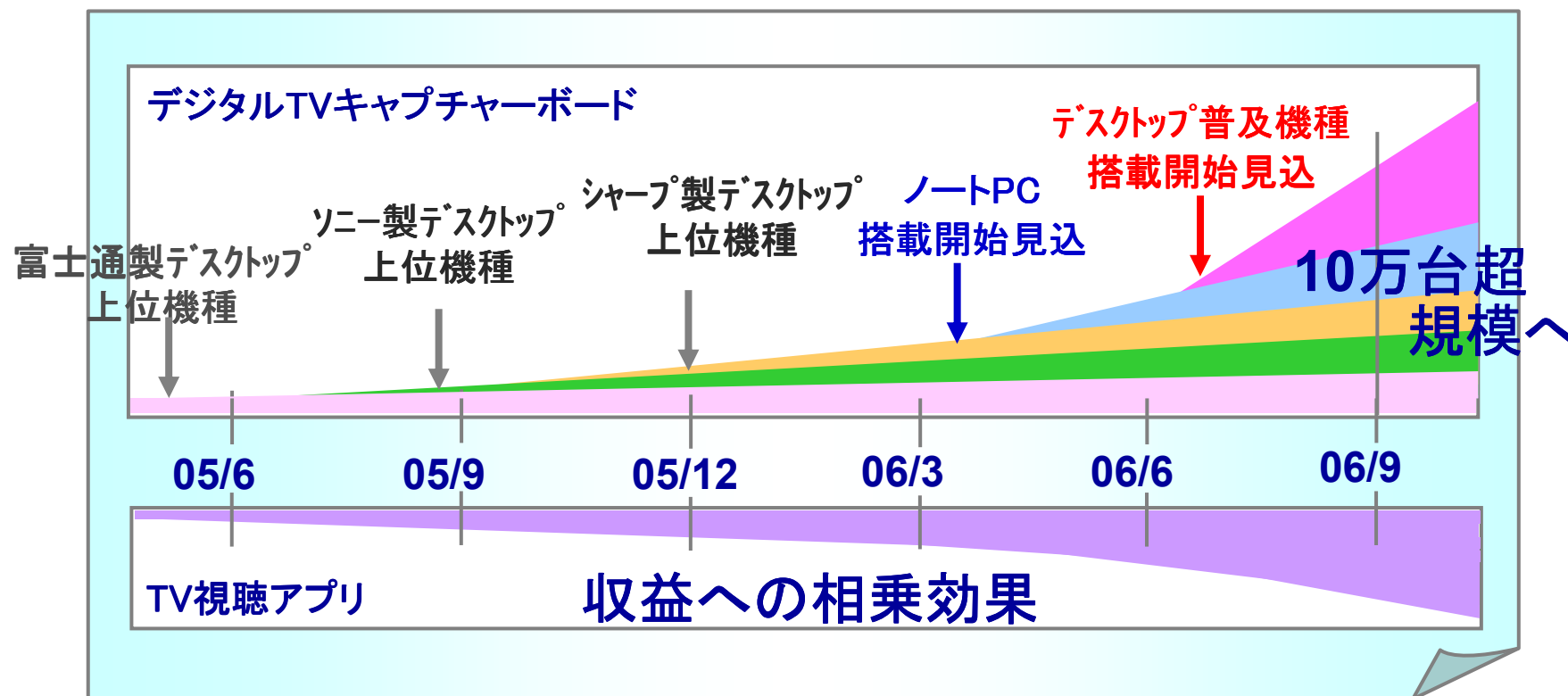


miniPCI接続ノートPC用
(開発中)



ハードウェアの展開

地上デジタルTVキャプチャーボード売上高推移



アナログ放送停波告知シール等
による地デジボード普及後押し



2011年 アナログテレビ放送終了



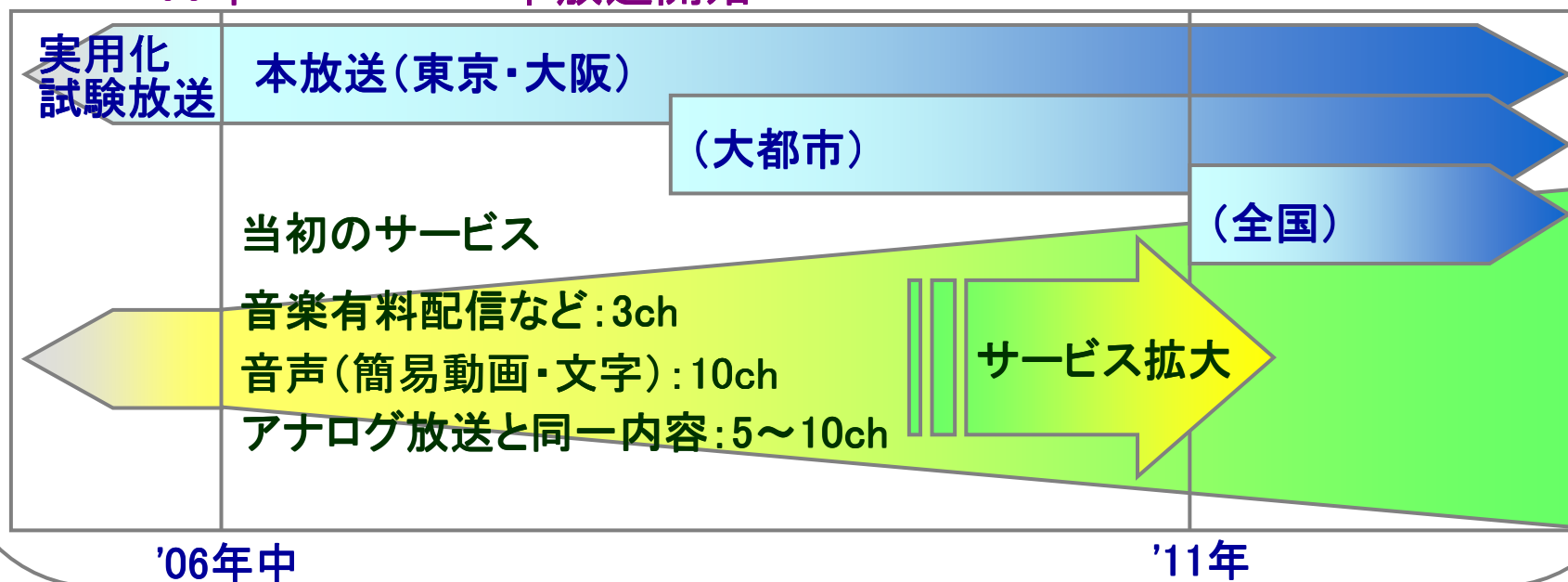
(参考)

デジタルラジオの展開

デジタルラジオ放送の今後の展開

05年10月31日、11月13日報道より

05年10月31日 発起人会設立
06年春 事業会社※「マルチプレックス・ジャパン」設立
06年 本放送開始

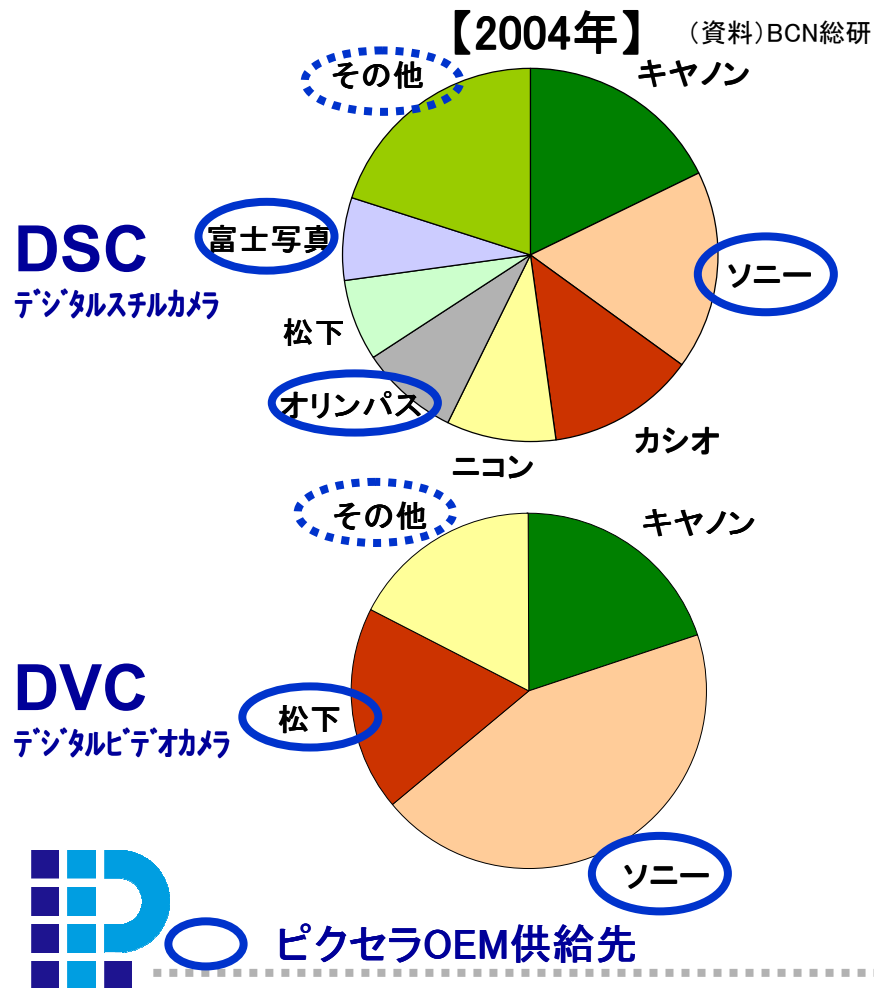


※2011年までは総務省のデジタルラジオ向け放送帯域割当が限定的なため、チャンネル編成を一元管理するための民放などで共同設立する運営会社

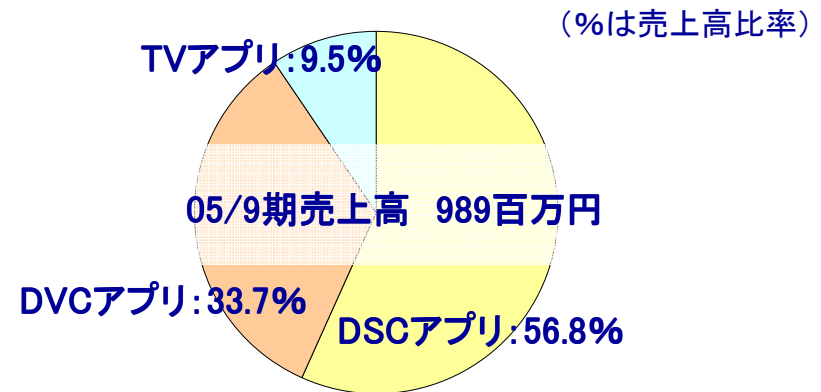
ロイヤリティの展開

既存のDSC・DVCアプリ + TV視聴アプリの拡大

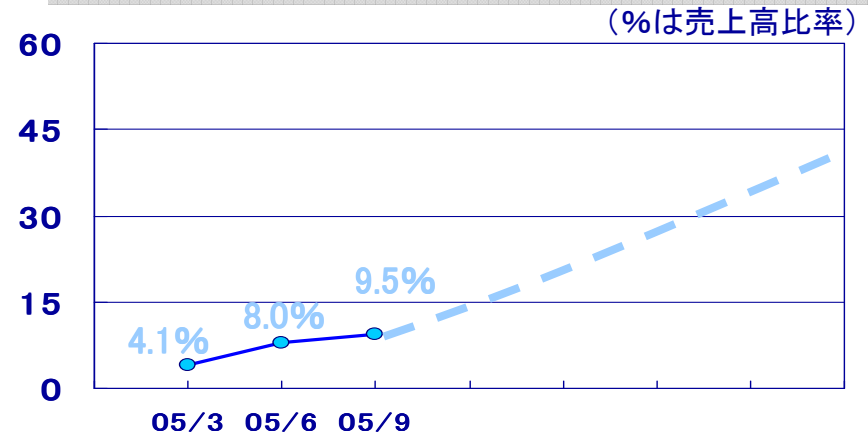
DSC・DVCの国内出荷シェアの状況



ロイヤリティの構成比率



TV視聴アプリの推移

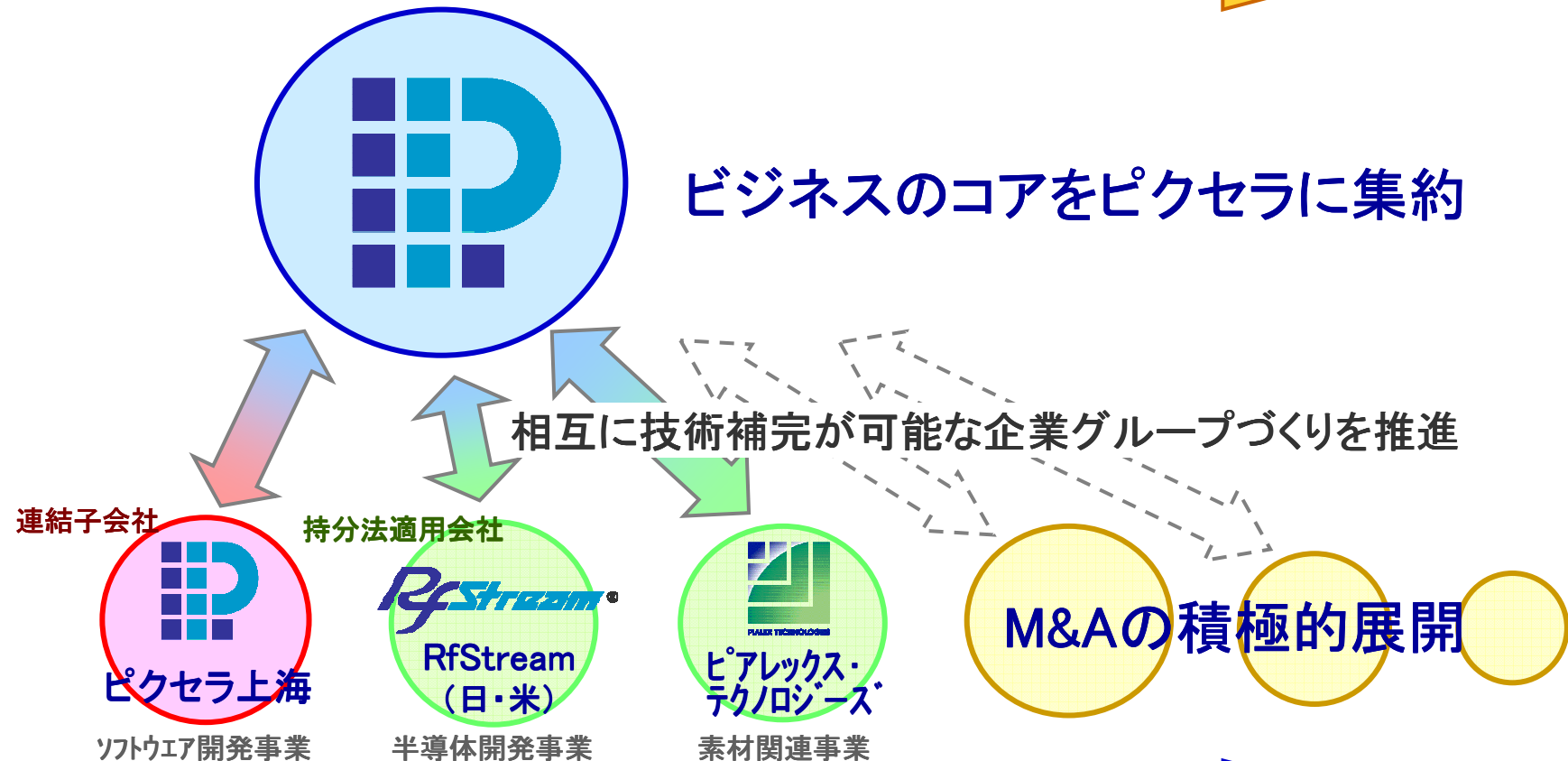




当期決算概要と来期見通し
事業展開の状況
事業の展望

ピクセラのグループ戦略

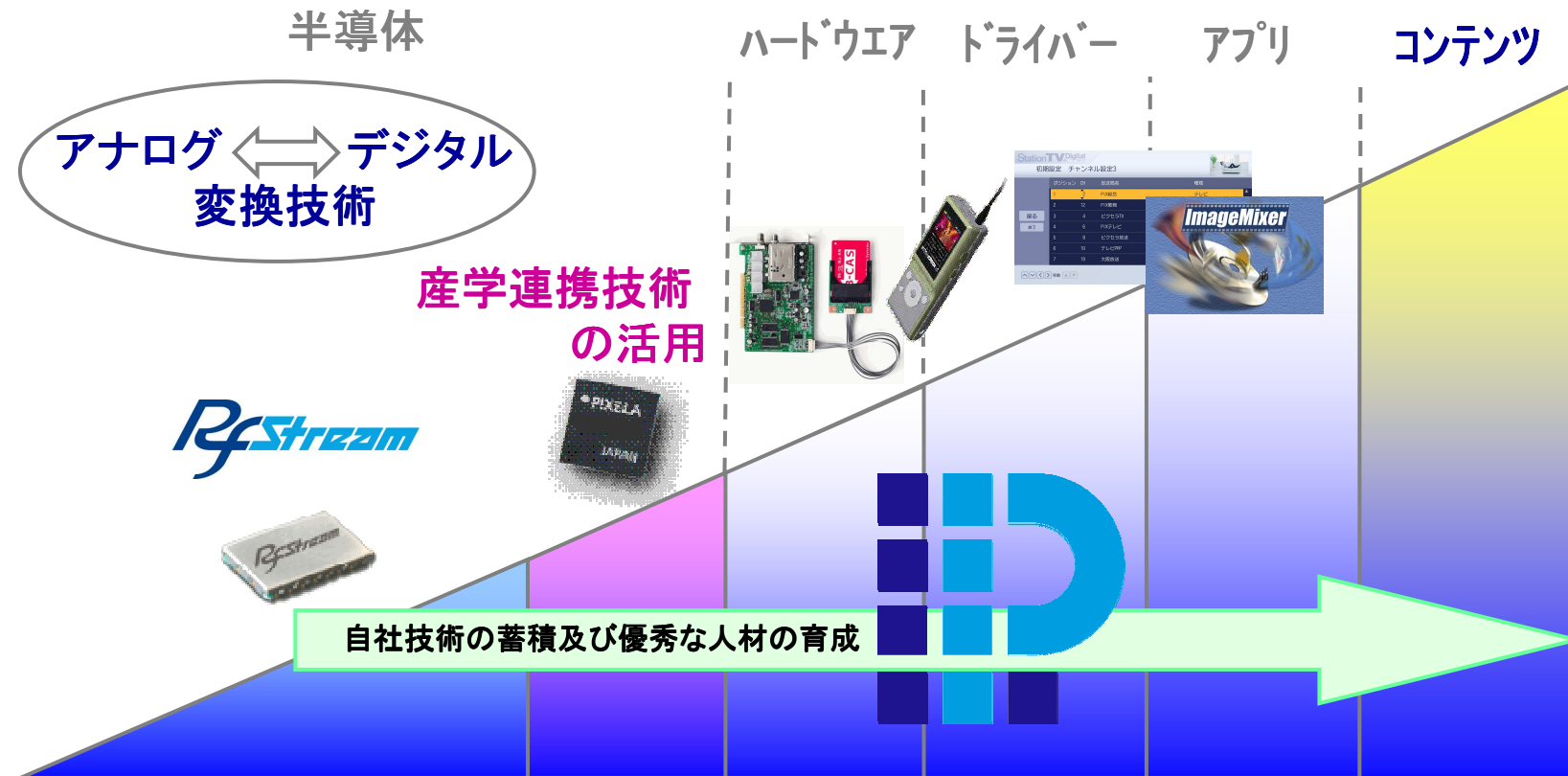
ビジネスの拡大



グループの拡大

今後のビジネス展開

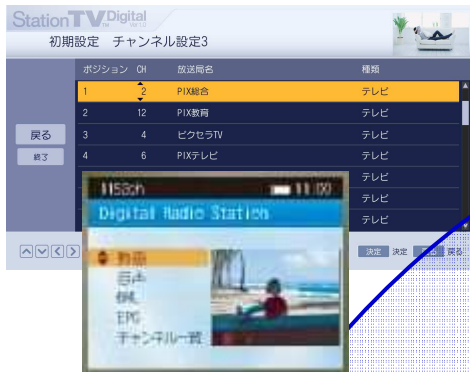
グループ内での技術補完によるビジネスの確立



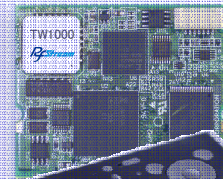
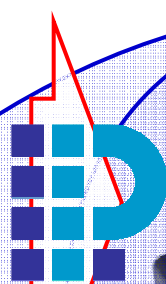
上流から下流までの一貫したビジネス展開

今後の展望

～デジタル・アナログ混在期のハードウェア展開～

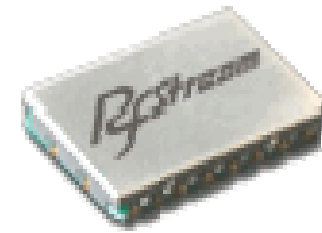


BMLブラウザ等
のソフトウェア技術



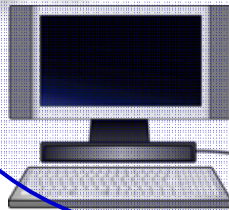
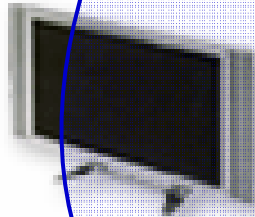
RfStream®

デジタル・アナログ両受信可能
シリコンチューナーの開発
新チューナー「TW」シリーズ
06年より量産開始予定

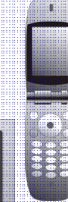
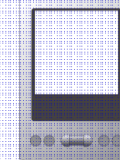
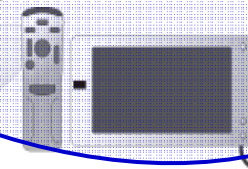
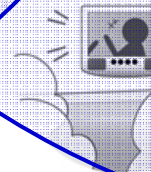


テレビ分野
への展開

リビングPCの
開発、販売

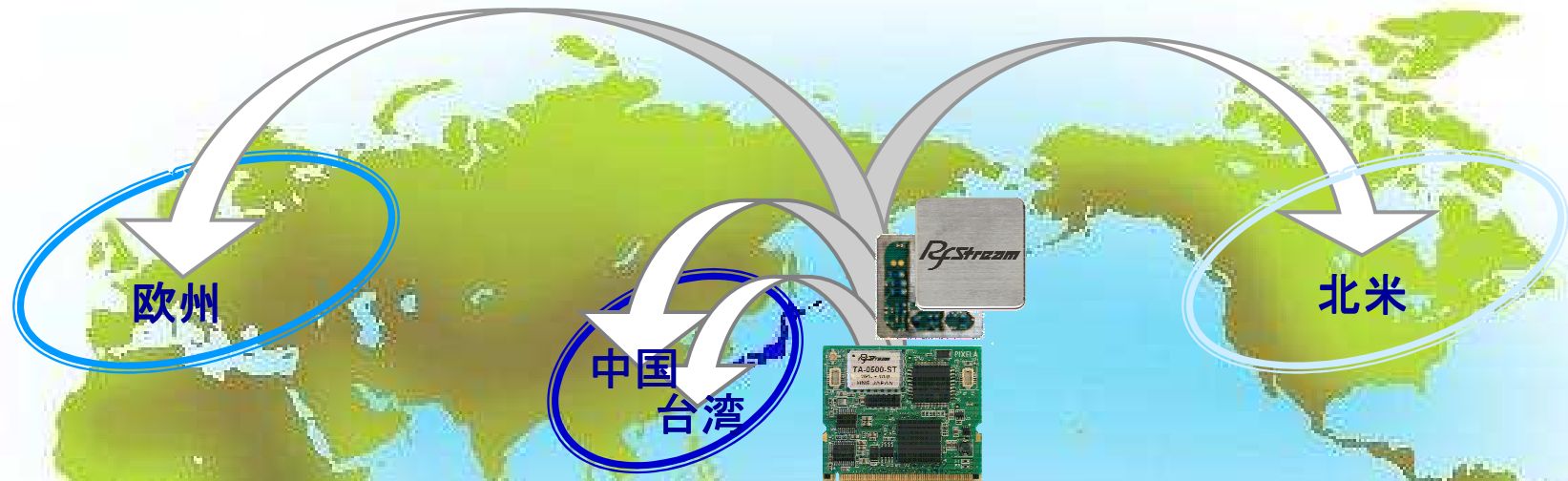


モバイル機器、中小型TVの
開発、販売



海外市場の展開

海外へのビジネスの拡大



世界的な潮流である放送波のデジタル化を背景に

Made by Global Pixela を世界へ

RfStream の WorldWide対応シリコンチューナーをキーアイテムに
まずは、中国・台湾からスタートし、その後欧州、北米へ



資料取扱上のご注意

- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。

